

火災避難訓練

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう

礼儀
積極的にかかわる力
挨拶・返事・後始末

元気の挨拶は相手を
思いやる優しさ物事をやり抜く力
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

11月15日(火)6校時
火災避難訓練を実施しました。当初企画から訓練まで延期が続き大分遅くなりましたが、上原地区消防団のご協力により、いざと言うとき「どう行動するか?」「避難経路は?」等について確認しました。消防車が駆けつけたり、初期消火作業を行ったりと実際の訓練体験から危機管理意識の芽生え?が得られたかな?

初期消火活動



10月3日～11月11日の1ヶ月超に渡って続いた読書月間の締めくくりとして去る15日(火)朝、図書委員会によるエンディング集会が行われました。尾島征良さんと東浜旦昂さんが自分のオススメの本を自分の視点で紹介するビブリオバトル(書評合戦)を繰り広げました。二人ともオススメの本を猛アピールし、いかに好きなのかが伝わる内容でみんなを引き込む内容でした。また、比嘉利博教頭先生から松村正治著の「記録されなかったムラの記憶-西表島旧稲葉集落」が紹介されました。1970年頃廃村になった旧稲葉村の住人から聞き取りしたドキュメンタリー本です。当時の西表の人々の暮らしや様子を知る貴重な本で「大変興味深く読んだ」とのことです。「島立ち」前のオススメの一冊として手に取ってみてください。ビブリオバトル、お楽しみ抽選会と盛りだくさんの集会でした。企画した図書委員さん、お疲れ様&ありがとうございました。

図書委員会

読書月間エンディング集会

ビブリオバトル

02:54

教頭先生の言葉

比嘉

利博



ビブリオ(書評)バトル

お楽しみ

抽選会



お知らせ

◎第28回八重山地区中文祭

11月19日(土)石垣市民会館(大ホール・中ホール)於地区中学校総合文化祭が開催されます。今回からコロナ禍でできなかった演目が復活しました。本校はプログラム17回13:15予定の合唱;演題「栄光の架け橋」を実演します。9月の文化祭でも披露しましたが、さらにブラッシュアップして再登場です。よろしければお誘い合わせのご鑑賞ください。*生徒は「見学のしおり」を持参しています。

◎迫る2学期定期テスト

1日目 11月24日(木)

2日目 11月25日(金)

*欠席者等の追試日

28日(月)～29日(火)二日間実施

*追試終了後テスト返却を行います。

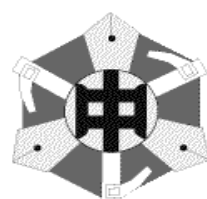
沃
野

発行

11月 第29号

船浦中学校

校長 宮城裕子



11月9日の第9回スピーチ集会のスピーチ原稿です。ご一読ください。

大慈さん

スピーチ集会

和樹さん

「僕の犬」

みなさんは、犬は好きですか。「好き」という人や、「怖い」「苦手」と思う人もいると思います。僕の家には、一匹の犬がいます。去年の僕の誕生日に、友だちの知り合いからもらいました。名前は、「ポン」といいます。ポンは僕も家族も大好きで、皆から愛されている存在です。そこで、今回はポンの好きな所を三つ紹介します。一つ目は名前を呼んだら、僕の場所に来てくれることです。最初の五、六ヶ月は脱走することが多くて、外に一緒にいる時に、目をはなしたすきにどこかに行ってしまうたりして、いつも探していました。最初の方だったので、名前を呼んでも帰ってきませんでした。でも、家族みんなでしつけをした事で、僕が呼んだ時に帰ってきてくれました。とてもうれしかったです。二つ目は、僕が昼ねをしていたり、夜ねたりしている時に、一緒にねてくれることです。ポンはめちゃ小さいので、夜は一緒にねることができます。僕の横に来てくれたり、家族の誰かの場所についてねれたりして、とても気持ちよさそうでした。でも、一緒にねていると、僕がね返りをうった時に、ポンをつぶしてしまいますことがあります。その時は、寝ながら「大丈夫なのかなあ」と思っています。三つ目は、木の棒を投げると全力で取りに行ってくれることです。一回目は返してくれるのですが、二回目に僕が木の棒を投げると、取りには行きますが、返してくれるのかなあと思ったら、僕の場所とは全然違う所で、ボールと一緒に遊んでいました。あまり相手にしなかったりすると、「遊んでー!!」とアピールをします。一緒に遊んでいると僕も楽しかったです。このように、僕の犬にはかわいい所や良い所が他にもたくさんあります。そんな中でも、ポンにも苦手な事やきらいな事だってあります。水がきらいだったり、バスケットボールを怖がったりします。人間にも好ききらいがあるように、犬にも好きな事やきらいな事があると思っています。好きな事やきらいな事、良い所があるポンをこれからも大切にしていきたいです。

「それでは聞いてください」

「それでは聞いてください」と聞いて、皆さんは何を思いうかべますか。そうです。「チグハグ」です。今年文化祭で2年生がおどりましたよね。そこでチグハグの最初に言った言葉。「それでは聞いてください」をうまく使った皆さんに聞いて欲しいことがあります。それは、髪の毛についてです。特活室前にある、意見BOXにとある人から、「和樹の前髪がまっすぐになって悲しいです」と意見がありました。これはどういう意味なのですか、教えてください。

ぼくは、くせっ毛です。鑑の前に立つといつも寝ぐせみたいになって、うっとうしいんです。なので、ぼくみたいにくせっ毛の方はみんな思いますよね。そう、ストレートになりたい。サラサラになりたい。天パ、くせっ毛の方は常に思っていると思います。そこで、ぼくは大きな行動に出ました。今年の中体連前にですね。ボウズにしました。そうすると、うっとうしい髪の毛がなくなって最初はよかったです。でも、鏡の前に立つと髪の毛が短くなっていて、周りの目が気になって恥ずかしかったです。ぼくは、二度とボウズにならないかもしれません。ですがこの僕らしい、くせっ毛ではいるつもりです。ぼくはもう髪の毛をイジったりしません。なので、ぼくの髪の毛を気にしなくてもいいですよ。そして、ぼくのことを前髪などと呼ばないでください。お願いします。それと、哲郎先生、このスピーチを聞いても怒らないでください。お願いします。ありがとうございました。

「氷」

風さん

みなさんは氷を食べたことはありますか？僕はほぼ毎日氷を食べています。なぜ、氷を食べるかを調べてみました。ジュースなどを飲んだ後、氷を食べませんか？氷を異常なほどに食べることは、氷食症と呼ばれ、異食症の一つと考えられています。氷食症は鉄分が少くない人たちに比較的高い確率で見られる症状であることが知られています。氷をたくさん食べている人たちは貧血とみたらいいでしょう。氷食症が起こる理由については強い精神的ストレスや脅迫観念によるというせつや、貧血に伴う口の炎症を抑えようとするため、あるいは氷をかむことによって反射的に脳血流を増加させているなど、さまざまな説明がなされています。しかし、まだはっきりとしたことは分かっていません。10年以上前の非常にふるいものですが、興味深い研究があるので紹介します。まずラットから脱血して、貧血にします。次に氷から水でも好きな方から水分をせっ取できるようにラットを教育します。正常なラットは45%の水分を氷からせっ取するのに対して、貧血のラットは96%の水分を氷からせっ取しました。ラットの貧血が改善するにつれ、貧血がなくなったラットは氷には見向きもしなくなったという研究報告です。

僕はこのことから、氷をたくさん食べ過ぎないようにしていきたいです。

また、ねる前などに氷を食べ過ぎないようにしたいです。